

お出かけ前の点検

CORONA **MARK II 1700** HARDTOP / **1900** HARDTOP

あなたのコロナ・MARK IIをいつも快適にご使用していただくために、お出かけ前に次のことを点検してください。



■ 仕業点検

お出かけ前にこれだけはぜひ!!

どなたでも車を一回りすれば気軽にしかも容易に点検ができます。

点検はムダを省き手順よく行のがコツ、

①→②→③を順に行ってください。

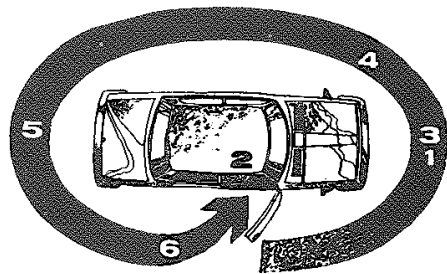
1. まずエンジン、フードを開けて
オイルと水の点検……………①
2. 次に運転席に座って、エンジン始動
各計器類を点検し、ウォーム・アップさせながらハンドル、ブレーキなどを点検……………②
3. ヘッド・ランプをつけて車を出て、周囲を1回りする間に
タイヤ、ランプ類、オイル漏れなどを点検……………③～⑤
4. 再び運転席に乗り出発前に除行させながら速度計や、ハンドル、ブレーキの作動を点検……………⑥

項 目		点 検 内 容
異状箇所		前回の悪かった所はないか。
車のかたむき		前・後輪のスプリングに損傷はないか。
タイヤ		空気圧は適当か。異常摩耗(残り溝1.6mm)、損傷はないか。
エンジン		エンジン・オイルは規定量はいつているか。 異音は出ていないか。排気の状態は正常か。
ラジエーター		冷却水は規定量はいつているか。
バッテリー		バッテリー液は規定量はいつているか。
ブレーキ	ペダル踏み残り代 遊 び	いっばい踏み込んだときの床とのすきまは55mm以上か 0.5～5mmあるか。
	液 量	規定量はいつているか。
パーキング・ブレーキ		引き代は適当か。13ノッチ以内残り(9ノッチ)。
ステアリング・ホイール		ゆるみ、ガタはないか。遊びはハンドル円周上で50mm以内 異常に振れたり、とられたり、重くないか。
各ランプ類		各々のランプは点灯するか。
各計器類		作動はよいか。
ホーン		鳴るかどうか。
ワイパー		作動は良いか。
ミラー		後方がよく確認できるか。
ライセンス・プレート		汚れ、損傷はないか。

この中には、道路運送車輛法によりドライバーに義務づけられた仕業点検項目が含まれています。

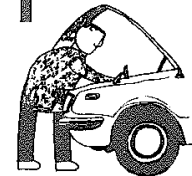
■ 作業点検項目

車の周囲を一周する



1 = エンジン・フードを開けて

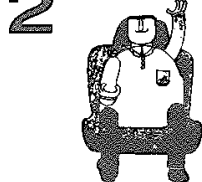
- エンジン・オイル
質・量
- ブレーキ・フルード量・質
- 冷却水量・質



• ファン・ベルトのゆるみおよび損傷点検

2 = 運転席に座って

- 燃料計 (ガolin残量)
- 充電、油圧警告灯



- ターン・シグナルランプの点滅
- ブレーキ・ペダルの遊び(0.5~5mm)、残り代
- ワイパー・ホーン作動
- リヤ・ビュー・ミラー写影
- ステアリング・ホイールの遊び、ゆるみ、がたおよび操作不具合
- パーキング・ブレーキの引き代の余裕点検

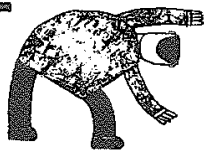
3 = 車の前から

- ヘッド・ランプの点灯
- スモール・ランプの点灯
- ライセンス・プレートの汚れ・タイヤ空気圧、傷、摩耗、(残り溝1.6mm)



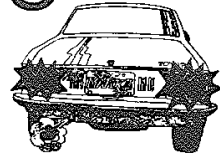
4 = 車の下をのぞいて

- エンジン・オイル洩れ
- トランスミッション・オイル洩れ
- ディファレンシャル・オイル洩れ
- ブレーキ配管オイル洩れ



• ラジエーター水洩れ

5 = 車の後から



- テール・ランプ点灯
- ライセンス・プレートの汚れ
- 排気ガスの色
- タイヤ空気圧、傷摩耗(残り溝1.6mm)

6 = 徐行しながら



- 水温計、速度計
- ハンドルの重さ、異音
- ブレーキの効き
- パーキング・ブレーキの効き

そのほか



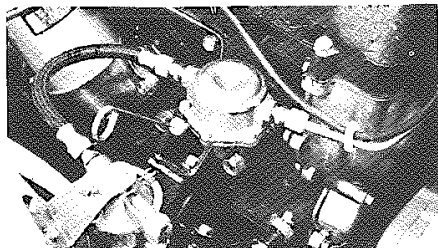
- ブレーキ・ランプ
- バックランプ
- 前日の異常箇所

■高速走行前の点検

項目	点検内容
タイヤ	石、釘その他の異物はないか。
エンジン・オイル	汚れていないか。
ラジエーター	水漏れ、フィン間にごみなどつまりはないか。
ブレーキ	走行してブレーキの片ききはないか。 ブレーキ・チューブおよびホースと他の部分の接触、損傷、取り付けにゆるみはないか。
ハンドル	走行してハンドルが振れたり、取られたり、または重かったりしないか。
ファン・ベルト	ファン・ベルトの張りは適正であるか。 損傷はないか。
ガソリン	目的地まで走行するのに十分はいつているか。

エンジン・ルーム内の点検

① エンジン・オイルの点検・補給



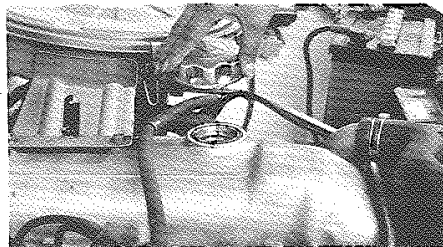
エンジン・オイルの点検……レベル・ゲージを抜いて、きれいな布などでふき、次にレベル・ゲージを元の穴へいっばい差しこんで静かに抜き出してください。このとき、先端についたオイルの位置を読んでください。

オイルがFとLとの間にあれば良く、L以下のときはFまで補給してください。オイルの汚れや変色の著しい場合は、交換してください。

エンジン・オイル……………4.1ℓ

《注意》

エンジン停止直後に、エンジン・オイルの点検をしますと、正確な量を読み取ることができませんので、3分以上たってから点検してください。



エンジン・オイルの補給……キャップは左にまわしてははずします。エンジン・オイルは、キャッスル・モーター・オイル・スペシャル以上をお使いください。

《注意》

1. オイルを補給したあと、どれだけあるか必ずオイル・レベル・ゲージで確認してください。

2. オイルはできる限り同じ銘柄のものを補給してください。